

札幌市議団ニュース

2010年10月18日 No.23

日本共産党市議団事務局発行
電話 211-3221 FAX218-5124

決算特別委員会・論戦特集

伊藤議員

10月13日の決算特別委員会で伊藤議員は子どもにかかわる問題を取りあげました。その中から「待機児童と超過入所問題」と「保育所給食の外部委託問題」の質疑を紹介します。

産休明けても職場復帰できない！

切実な実態受け止め、整備計画の前倒しを求める

札幌市の待機児童数は、4月時点の1290人から7月には1521人とさらに増えています。

質問に立った伊藤議員は「ますます保育需要が増えています。私のところにも産休が明けて仕事に復帰しようと保育所に入所手続きに行っても自宅近くの保育所も職場近くの保育所もいっぱいに入れなくて困っている、と相談に来られる若いお母さんが増えています。また保育定員をオーバーして保育しているため、子どもたちの保育の質と安全性の問題、保育士の過重労働についても改善が急がれるなど課題が山積しています。

市としてこうした実態についてどのように受け止めているのか、5年間で3500人の整備計画を前倒して2年間で取り組むべきだと考えるがどうか」とたどしました。

堂前 子育て支援部長は「子ども未来プラン広域計画で5年間で3500人の定員増になる保育所整備を着実に実行することを基本にしているが、毎年の保育需要や整備可能な事業所数などの状況をみながら柔軟に対応していく。超過入所も重要な課題だと認識しているが、まず待機児童を減少させるため保育所を整備していきたい」と答えました。

伊藤議員は「待機児童、超過入所については、厳しい実態をしっかりと受け止め、迅速な対応を行うよう」強く求めました。(10/13)

給食は保育所内で作るべき

外部搬入は安全性に不安の声

伊藤議員は、保育所給食の外部委託についてとり上げ「『幼稚園と保育所の連携、一体化の流れの中で、調理施設を持たない幼稚園で終日子どもを預かる場合は、給食の取り扱いを検討する必要がある』(9/28 宮川議員の代表質問への答弁)とのことですが、外部搬入は安全性に不安の声が出ているがどのように考えるか。またすでに外部搬入しているところでは、業者が大量に作った冷たい弁当を給食にしていると聞かすが、保育所内で作るべきと考えるがどうか」とたどしました。

堂前 子育て支援部長は、「現在のところ保育所給食について外部搬入を認める考えはない」と明言しました。

伊藤議員は「子どもたちを健やかに育てていく、食べることは生きる意欲につながるという点は、非常に大事な問題なのでしっかり取り組んでほしい」と、保育所給食を守ることを強く求めました。(10/13)